

令和2年4月から

安来市の子育て支援をさらに充実

母子健康包括支援センター「ぴっこりーに」がスタート

妊娠届の窓口が1カ所になります

病児保育が新たに始まります



「ぴっこりーに」とは…イタリア語で「かわいい子どもたち」という意味です。ぴっこりーにを健やかに育むための拠点にしたいという思いから名付けました。

ぴっこりーにガイド

保存版

妊娠から出産、子育て期の安心と支援のワンストップ化を目指します

母子健康包括支援センターの愛称は「ぴっこりーに」。

市では令和2年4月から母子健康包括支援センターを新たに設置します。愛称は「ぴっこりーに」。妊娠期から子育て期までの保護者とそのお子さんを対象にした相談・支援窓口となります。

このセンターの目的や業務内容について子ども未来課の奥野保健師に聞きました。

ー4月から開設する母子健康包括支援センターは、どんな目的で設置されるのですか？

安来市はこれまで子ども未来課で母子保健と子育て支援を一体的に進めてきました。でも、ライフスタイルや社会構造の変化が目まぐるしく、包括的な業務を担う部署の必要性が増しました。

この母子健康包括支援センター「ぴっこりーに」は、これまでの体制をより深化させ、一人ひとりの不安に寄り添いながら妊娠～出産～子育て期を通じて切れ目ない支援を行っています。子育て世帯の「安心感」につなぐため新たに開設します。

ーこれまでの内容を深化させるということですが、いちばんの特徴はどんなところですか？

まず、全ての妊婦さんの妊娠届の受け付けを原則、「ぴっこりーに」で行います。今までは安来庁舎や伯太庁舎の窓口でも受け付けていました。4月から

センターは関係機関との連携をしながら必要な支援を行います。



全ての妊婦さんと面談し、妊娠から出産、子育てでのサポートをします。

は「ぴっこりーに」に常駐する保健師や助産師が、全ての妊婦さんとお会いし、健康状態やご家族のことなどを伺いながら直接、「母子健康手帳」をお渡しします。

ご不便になる面もあるかもしれませんが、私たち保健師と顔を合わせることで、妊娠から出産、子育てと生活環境の変化や成長過程に応じたサポートができるようになります。

ーお母さんお父さんたちにはどんなメリットがありますか？

妊娠届から始まり、乳幼児健診などの場で定期的に、そして継続的に保健師や助産師と関わり合いを持つことができます。

何か支援が必要なおときには関係機関と連携しながらその人に合った支援プランを作り、サポートしていきます。また、何か不安なことや心配なことがあるときには、面談で顔を合わせた保健師に、いつでも相談することができますので、妊婦さんや保護者の安心感にもつなげていきたいです。

ーこの「ぴっこりーに」は広瀬町の健康福祉センターに設置されますがこういったメリットがありま

すか？

健康福祉センターは市立病院の隣りにあり、福祉部門も置かれています。先ほどの支援が必要な場合、連携が取りやすくなります。

また、プレイルームが併設されていますので、お子さんが遊んでいる間に相談することができます。今、健康福祉センター内に個室の専用相談室を整備中ですので、プライバシーを保護しながら安心して話をさせていただくことができますようになります。

－「ぴっこりーに」の対象は妊娠期からとのことですが、どのタイミングから相談ができるのですか？

妊娠が分かった時からではなく、それ以前の不妊治療についても相談できます。安来市をはじめ島根県の助成制度がありますので、これらの案内をすることができます。

何よりも、一人で悩まないで「ぴっこりーに」の保健師にお気軽に相談していただければと思います。

途中で転出入した場合はどうなるのですか？

国は2020年度末までにすべての自治体に包括支援センターの設置を目指しています。それぞれの自治体にもセンターがありますので、住所が変更にな

支援が必要なときは、それぞれの親子に応じたプランを提案します。



「ぴっこりーに」は、 安来市健康福祉センター内 (広瀬町広瀬) にあります



なった場合でも、自治体間で連携し支援が途切れないようにします。ですから、一時的に里帰り出産をするときなどにも安心です。

最後にひとことお願いします。

今春開設する母子健康包括支援センターは、全ての妊婦さん、乳幼児とその保護者が対象です。そして、妊娠期から出産期、子育て期間を通じてのワンストップ拠点を目指しています。分からないことや困ったこと、不安があるときなどは電話や窓口でお気軽に相談ください。

また、子育ては地域の皆さんの協力と理解が必要です。妊娠・子育て家族がいなくても、新たに設置する母子健康包括支援センターの存在を知っていただきたいと思います。

4月から母子健康手帳は 「ぴっこりーに」で渡します

4月1日から「母子健康手帳」の交付は、母子健康包括支援センター「ぴっこりーに」で行います。

子ども未来課内 (広瀬町広瀬 1930-1)

☎ 0854-23-3222

「ぴっこりに」では何をしてくれるの？

1 妊娠前から不安や悩みを 解消できるよう手助けします



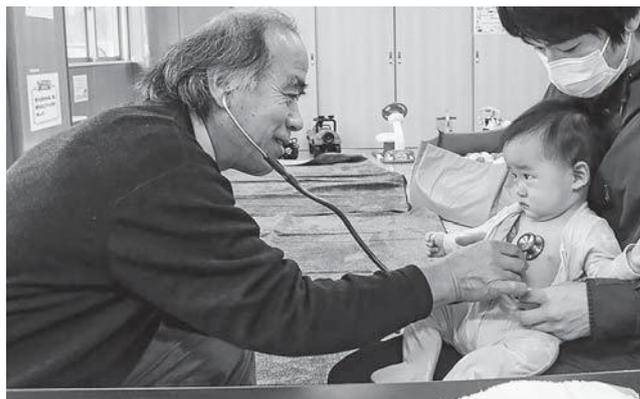
妊娠前から子育て期の不安や悩みをお聞きし、サポートします。

また、不妊治療を受けておられるご夫婦の経済的な負担軽減を図るため、不妊治療の助成制度を設けています。

詳しくは、子ども未来課へ問い合わせください。

2 関係機関と連携し、切れ目なくサポート

「ぴっこりに」に常駐している保健師、助産師をはじめ、医療機関の医師や助産師などと連携して出産や子育てを応援します。



時期に合わせた支援、一人一人に寄り添った支援を行います

「ぴっこりに」が
提供するサービス

妊娠前

- ・妊娠に関する情報提供
- ・不妊相談



妊娠期

- ・妊婦健診・歯科検診
- ・養育支援訪問
- ・マタニティ教室



出産

- ・乳児家庭全戸訪問
- ・生後1か月児健診（乳児一般健康診査）



「妊娠前～出産」期

妊娠～出産期は、短期間の内にお母さんの心とからだが大きく変化します。新しい命を迎えて、喜びの反面、「誰にも言えないけど、どうしよう」「初めての妊娠・出産で不安がいっぱい」と戸惑いを感じる人もいるかもしれません。

相談を受けるだけでなく、この時期を健康に過ごすよう、役立つ情報をお伝えします。

こんな相談もOK！

- ・妊娠したかもしれないけど、誰にも言えない
- ・出産の準備や費用
- ・里帰り出産
- ・妊娠中から産後の健康管理
- ・経済的な支援
- ・近くに子育てなどの協力者がいなくて不安
- ・子育ての知識を増やしたい など

3 成長過程を把握することで その人に必要な支援を行います

妊娠の届け出をしたときからの定期的・継続的な面談で、各成長過程でのお子さんと保護者の様子を把握し、それぞれに必要な支援を行います。



4 どんな相談でも受け付けます

妊娠、出産、子育てに関するお困りごとや気になることをなんでも相談できます。常駐の保健師、助産師などがお聞きし、アドバイスしていきます。



産後

- ・乳幼児健診
- ・予防接種



子育て

子育て支援の詳細は、次ページをご覧ください。



「産後～子育て」期

赤ちゃんを迎えてスタートする新しい暮らしは、喜びと期待に満ちあふれていることでしょう。

一方で、「きちんと育てなくちゃ」というプレッシャーを感じることがあります。また、「自分一人で子育てしている気持ちになる」など、孤独を感じる場合もあります。一人で悩まずにまずは、ご相談ください。専門機関と連携しながら、子育てを応援します。

こんな相談もOK!

- ・母乳、育児用ミルクや離乳食
- ・予防接種の受け方
- ・子育てが大変で自分の時間がない
- ・子どもの成長や発達が心配
- ・子育て仲間を増やしたい
- ・保育所や認定こども園、幼稚園の選び方
- ・遊び場などの地域の情報がほしい など

みんなの遊び場 子育て支援施設がご利用いただけます

安来市子育て支援センター
(安来市健康福祉センター内)

住所：安来市広瀬町広瀬 1930-1 電話：23-3222

相談

保健師や栄養士、保育士、ケースワーカーなどがお話を伺います。どんな相談でも一緒に考えます。

プレイルーム

自由に遊べるスペースです。おもちゃやボールプールがある「おもちゃの図書館」を併設しています。毎月、センター便りも発行しています。



子育てサービスの情報提供

マタニティ教室や乳幼児健診、離乳食教室、子育て教室などの普及啓発を行っています。また、保育所や幼稚園施設の事業紹介や他の子育て支援施設の紹介も行っています。

利用時間：毎週月～金曜日 9時～17時

休館日：土・日曜、祝日、年末年始

利用料：無料

安来市親子交流センター
(旧城谷保育所)

住所：安来市安来町 583

電話：23-7050

つどいの広場

利用時間内は、自由に遊ぶことができます。また、子育ての不安や悩みの相談を子育てアドバイザーが受け付けます。

毎週木曜日に「あかちゃん体操」や「ふれあい遊び」などのイベントを実施しています。



おもちゃが
たくさん！

利用時間：毎日 9時～16時

休館日：5月の連休、お盆、年末年始など

利用料：無料

やすぎファミリー・サポート・センター

- 保育施設の保育開始時間前・保育終了後、お子さんを預かります。
- 保育所・幼稚園までお子さんの送り迎えをします。
- 学童保育終了後や学校の放課後にお子さんを預かります。
- お子さんが病気などの場合に、お子さんを預かります。
- 保護者等の外出や急な残業、出張の際にお子さんを預かります。

利用料金 (30分あたり)

昼間	7時～19時	250円
夜間 早朝	19時～22時 6時～7時	300円
深夜	22時～6時 (宿泊含む)	500円
軽い病気の場合		
昼間	7時～19時	400円

みゆき保育園

子育てふれあい広場 (保育園開放)

保育園のお部屋や園庭で、保育園のお友だちとも一緒に遊ぶことができますよ。クッキング、遠足、クリスマス会なども行っています。お気軽にお越しいただき、親子で楽しいひとときをお過ごしください。

子育て相談・アドバイス (無料)

健康相談、子育ての悩み、栄養相談など、さまざまな相談を受け付けています。

..

住 所 ：安来市安来町 924-3
電 話 ：22-3567
利用時間 ：毎月第2・4土曜日 9時30分～12時
利用料 ：1家族200円 (1回につき)

ふたばこども園

さわやかルーム

こども園のお友だちとふれあいながら、親子で楽しめる活動やイベント、クッキングなどが盛りだくさん。また、旬の野菜をふんだんに使った保育園の食事を提供します (1人300円)。離乳食やアレルギー除去食の提供も相談に応じます。

育児相談・電話相談も受け付けています。気軽にご連絡ください。

..

住 所 ：安来市下坂田町 197-1
電 話 ：23-1577
利用時間 ：毎週水曜日9時30分～12時30分 毎週土曜日9時30分～12時
利用料 ：無料 (食事代を除く)

どじょっこ (切川保育所)

発達に不安のあるお子さんやハンディキャップのあるお子さんのあそびの広場、遊具の提供、育児相談などを行います。

ふれあい広場

支援を必要とするお子さんを中心にふれあいの場を開いています。

同じ悩みを抱えるお父さんお母さんが集い、子育てについて語り合えます。話すことで気持ちを楽に子どもたちの健やかな成長を育みませんか。

利用時間：毎月2回

場所：安来市健康福祉センター

じっくり相談 (個別相談)

相談内容によって専門の先生がお話を伺います。「個別にじっくり聞いてほしい」という人はぜひ、ご利用ください。

利用時間：適宜日程を調整します (要予約)

場所：切川保育所

住 所 ：安来市切川町 624-2	
電 話 ：23-1999	
利用料 ：無料	



2020年
4月
から

「病児保育室すこやか」がスタートします

病気中のお子さんを専門スタッフのいる医療機関で保育します

就労する保護者が増える中、お子さんが病気にかかり自宅保育が困難な時、一時的に保育をするのが病児保育です。これまでは、病気の回復期のお子さんをお預かりする保育を市内の2カ所の保育施設で行ってきました。4月からは新たに病気の回復前のお子さんを対象とする「病児保育」を加え、保育事業を拡充するものです。

現在、安来第一病院内で「病児保育」が可能になる改修工事を進めています。4月以降は安来市から同病院に病児保育事業を委託して行います。

また、市内の保育所等への感染症や食物アレルギー等の情報提供のほか、医療に関する相談・研修を行う医療相談センターもあわせて設置します。

【病児保育の概要】

○対象：市内に住んでいる満1歳～小学3年生
市外に住んでいる市内の保育施設を利用するお子さん

○開設日時：月～金曜日の8時30分～18時

○定員：6人/日

【職員体制】

保育士・看護師等の専門スタッフ

【保育・受診医療機関】

安来第一病院（小児科） ☎ 0854-23-3411

【利用料金】

市民1,600円、市民以外2,400円

【利用するときに必要なもの】

病児保育利用カード（右の③で受領します）、利用料、昼食、おやつ代300円、母子手帳、薬、着替え、タオル、ビニール袋、食事用エプロン、おむつなど

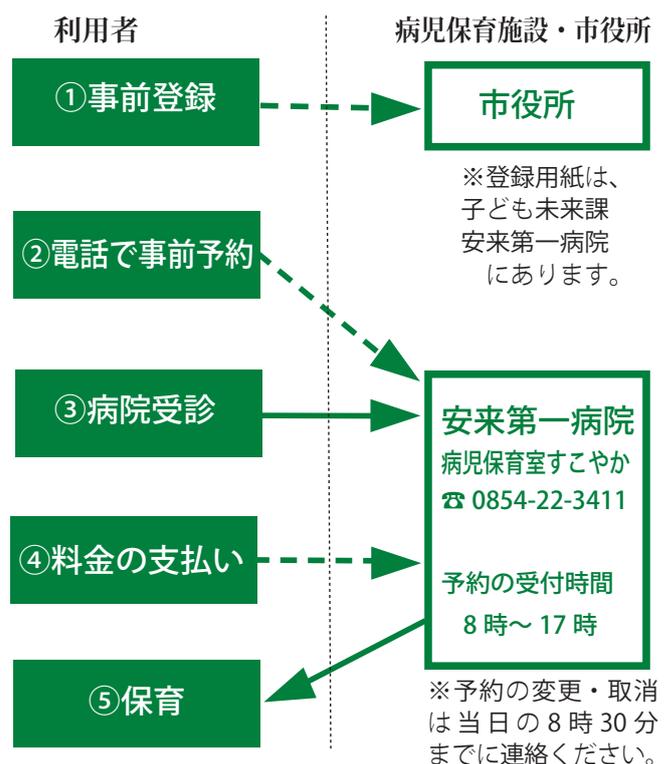
【その他】

- ・利用が見込まれる人はあらかじめ登録ください。
- ・感染症等の病状によっては利用をお断りする場合があります。詳しくは問い合わせください。



病児保育は安来第一病院に委託して行います。

利用の流れ



【問い合わせ】 子ども未来課 ☎ 23-3213

このガイドについての問い合わせは

母子健康包括支援センター「ぴっこりに」（子ども未来課内）

☎ 0854-23-3222 安来市広瀬町広瀬 1930-1 安来市健康福祉センター内